



横浜市立一本松小学校

9月号

# 学校だより

令和元年8月27日

横浜市立一本松小学校

校長 小原 健人

## 一本に まっすぐつながる 一本松

校長 小原 健人

長かった夏休みを元気に過ごし、一回りたくましく成長した子どもたちが一本松小学校にもどってきました。夏休み前の朝会では、恒例となりましたが「安全に過ごしましょう。そして、夏休み明けにはみんなで元気にまた会いましょう。」という話をしました。大きな事故もなく、全員で再開できることを心より嬉しく思います。きっと友達や先生と、ラジオ体操や地域行事への参加など、夏休みならではの体験に花を咲かせていることでしょう。

学校でも夏休みには、泳力向上を目指し、一生懸命に取り組んだ夏季水泳特別クラブ、その成果を発揮した西区水泳大会、運動会に向けた鼓笛隊の練習などが行われました。どの活動もめあてをしっかりとって取り組む姿がととてもすばらしかったです。

さて、夏休み前の朝会では、もう一つ大切な話をしました。この度、本校の学校教育目標は、これまでの「ふれあい 学び合い たくましく生きる」から、「一本に まっすぐつながる 一本松」と、大きく変更されました。これは、4月号でもお知らせしましたが、これからの予測困難な時代にたくましく生きていくために、本校の子どもたちに求められるであろう資質・能力として設定した「自分づくりと他者を理解する力」を全ての教育活動で獲得するために、子どもたちはもちろんのこと、保護者や地域の皆様にも目標として知っていただくことを目指し、新たに掲げたものです。

### 〈学校教育目標〉

#### 一本にまっすぐつながる一本松

- 「いっ」 いっぱいかかわる子ども
- 「ぼん」 本気でがんばる子ども
- 「ま」 まちを愛する子ども
- 「つ」 つみかさねながら学ぶ子ども

「一本に まっすぐつながる 一本松」という言葉の中には、何事も興味をもっていっぱい関わってほしい、どんなことも本気で取り組んでほしい、自分が住む「まち」に誇りをもち、愛してほしい、小さなことを積み重ねながら学びを深めてほしい、など、私たちの思いが込められています。そして子どもたち一人ひとりが自分を見つめ、自分のすばらしさに気づき、様々な人と共に生き、このすばらしい地域の担い手となってほしいと願っています。

この夏も地域のお祭りに本校から多くの職員が参加させていただきました。温かく迎えていただいた地域の皆様や、生き生きと楽しく参加している子ども達の姿を見ると、改めて「まち」に根差した一本松小学校で教育活動に取り組むことの幸せと責任を感じます。

新しい学校教育目標のもと、これからも地域の皆様、ご家庭の皆様と共に手を取り合い、「全ては子どもたちのために」、を合言葉に励んでまいります。今月もご支援ご協力のほど、よろしく願いいたします。